

平成27年度 岡山県文化振興審議会 配付資料

日時 平成28年2月12日(金)
午前9時30分～午前11時
場所 ルネスホール ワークルーム

1	岡山県文化振興審議会規則	1
2	各事業	
	(1) 「まちアートマネジメント講座」の開催状況	2
	(2) 備中アートブリッジの開催状況	4
	(3) アートプロジェクトおかやま推進事業プレイベント	
	(ア) レジデンス事業開催状況	6
	(イ) 温泉で楽しむアート「美作三湯芸術温度」の実施	8
	(ウ) アートで彩る卒業式の実施	11
	(エ) 平成28年度重点事業(アートプロジェクトおかやま推進事業)	12
	(オ) 県立美術館事業	14
3	おかやま文化振興ビジョン成果指標実績	16
<参考資料>		
	重要無形民俗文化財の指定等	21
	平成28年度文化庁予算(案)の概要	25

岡山県文化振興審議会規則

平成十八年三月二十四日
岡山県規則第五十一号

(趣旨)

第一条 この規則は、岡山県附属機関条例(昭和二十七年岡山県条例第九十二号)第四条の規定により、岡山県文化振興審議会(以下「審議会」という。)の組織及び運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(所掌事項)

第二条 審議会は、次の事項を所掌する。

- 一 岡山県文化振興基本条例(平成十八年岡山県条例第十五号。以下「文化振興基本条例」という。)第八条の規定により知事から諮問された事項に関する調査審議及び意見の具申
- 二 その他文化振興基本条例の施行に関する意見の具申

(組織)

第三条 審議会は、委員二十名以内で組織する。

2 委員は、学識経験を有する者のうちから知事が任命する。

(委員の任期)

第四条 委員の任期は、二年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、任期満了後であっても、新たに委員が任命されるまでは、その職務を行うものとする。

3 委員は、再任されることができる。

(会長及び副会長)

第五条 審議会に会長及び副会長を置き、委員の互選によってこれを定める。

2 会長は、審議회를代表し、会務を総理する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

(会議)

第六条 審議会の会議は、会長が必要に応じて招集し、会長が議長となる。

2 審議会は、委員の半数以上が出席しなければ、会議を開くことができない。

3 審議会の議事は、出席委員の過半数でこれを決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(専門部会)

第七条 審議会は、その所掌事項の一部を分掌させるため、専門部会を置くことができる。

(委員以外の者の意見の陳述)

第八条 会長は、必要があると認めるときは、委員以外の者に審議会の会議に出席して意見を述べさせ、又は説明させることができる。

(庶務)

第九条 審議会の庶務は、環境文化部文化振興課において処理する。

(その他)

第十条 この規則に定めるもののほか、審議会の運営に関し必要な事項は、会長が審議会に諮って定める。

附 則

この規則は、平成十八年四月一日から施行する。

附 則(平成二二年規則第二七号)抄

(施行期日)

1 この規則は、平成二十二年四月一日から施行する。

「まちアートマネジメント講座」の開催状況

事業趣旨	地域のイメージアップとにぎわい創出につながる文化芸術イベントの企画やコーディネートができる人材を育成し、文化を核とした地域づくりを推進する。
フィールドワーク場所	高梁市紺屋川美観地区・本町周辺
事業概要	<p>《講座講師》伊永和弘（美術作家）、田野智子（NPO法人ハートアートリンク代表理事） 《講座受講生》18名</p> <p>○スタート・トークセッション（5月24日（日）） 文化や芸術を活用して地域の魅力発信に取り組む県内外のキーパーソンを迎えてトークセッションを行った。</p> <p>○講座の開催（6月21日（土）～1月24日（日） 延24回） 企画の進め方や広報戦略、効果的な広報物の作成などを学ぶ座学講座に加え、地域の歴史や文化を生かしながら、自ら文化イベントの企画、準備から開催・運営までを実際に経験するフィールドワークを行った。また、実証イベント「高梁国はじめてみました」（10月31日（土）～11月1日（日））には、延1,200人の参加があった。</p> <p>○成果発表会（1月31日（日）） 講座を通して得られた成果や反省点など、受講生自らが企画・運営する報告会を開催し、報告を行った。</p>

スタート・トークセッション 5月24日（日）（岡山県立図書館）



藤浩志氏（十和田市現代美術館館長）を講師に迎え開催。参加者約80名。

講座の様子（フィールドワーク）6月21日（土）



観光ボランティアの案内によるまち歩き。
地域の歴史・文化を学ぶことから開始



まち歩き後、地図上に「気になった場所」
の旗を立てる

実証イベント 10月31日(土)～11月1日(日)

【開催場所】 高梁市紺屋川美観地区・本町周辺

【タイトル】 高梁国はじめてみました

【参加アーティスト】 8名

【企画のコンセプト】 古いものと新しいものが出会う古い城下町「高梁」を現代アート作品で彩る



受講生による開国宣言



日本家屋でのインスタレーション



ギター絵画



一人語り形式の音楽劇



風鈴型オブジェと川面に浮かぶカプセル



ワークショップで制作したクリスタルカプセルの展示

成果発表会 1月31日(日)

【開催場所】 岡山県立図書館

【タイトル】 屋台に焼きそば まちにアート

【概要】 今回受講生が取り組んだ実証イベントの企画や内容を検証し、自分たちがどのように向き合ったのかを発表した。



林暁甫氏（特定非営利活動法人インビジブル マネージング・ディレクター）を講師に迎え開催。参加者約50名。

備中アートブリッジの開催状況

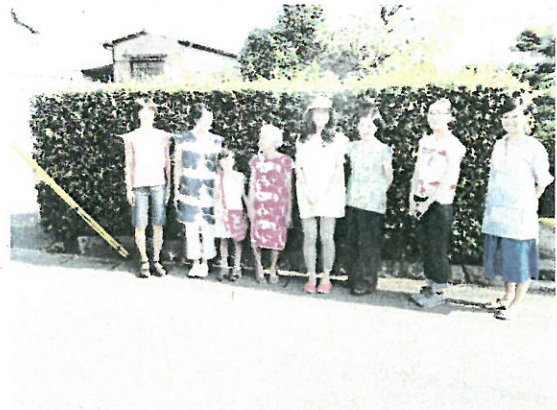
アート・ブリッジおかやま形成事業

<p>事業趣旨</p>	<p>地域の住民や地元アーティスト、NPO、市町村によるサポートグループが主体となり、空き店舗や空き教室等を活用したアーティストの短期滞在制作（アーティスト・イン・レジデンス=AIR）を実施するとともに、その制作過程で地域住民や地元アーティスト等との交流を行うことで、文化を核とした地域づくりを促進する。</p>
<p>事業概要</p>	<p>玉島 AIR</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「町を編む」 生産中止となった家庭用編み機を改造してパソコンとつなぎ、ワークショップにより作品を制作。町歩きした玉島の写真を元にしたニットの服などを展示。 作家：宮田明日鹿（テキスタイルアーティスト） 期間：平成 27 年 7 月 18 日～9 月 6 日 場所：IDEA R LAB ・「bi chu watabokkee ー木から糸へー」 「備中綿」の素材や歴史を見つめ直す取り組みとして、「備中綿」をテーマに、5名の若手アーティストが、絵画、彫刻、テキスタイルなど、各自の方法で作品を制作・展示。 作家：熊谷綾乃（東京造形大学大学院生）など5名 期間：平成 27 年 8 月 1 日～9 月 28 日 場所：遊美工房 ・「フォトグラファー in 玉島」 トルコ人の写真家を招聘し、滞在制作した玉島の写真とトルコの写真を展示。 作家：セルカン・ヘキムジ（トルコ） 期間：平成 27 年 10 月 15 日～11 月 30 日 場所：遊美工房 <p>笠岡諸島 AIR</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「笠岡諸島アートブリッジ」 笠岡諸島の3つの島で、それぞれの島の特質を生かした滞在制作を実施。 白石島 期間：7月5日～9月27日 作家：柳楽晃太郎ほか3名 庄屋の屋敷「松浦邸」などを会場に、島民から提供された古着を使った巨大な織りの作品や、島の子どものたちのデザインを元にした着物の展示、子どもたちが撮影した写真を編集した映像作品などを展示。 北木島 期間：7月21日～9月26日 作家：小谷野哲郎、岩本象一 舞踊家が島の伝承をもとに創作した仮面劇を、石工場跡に設けた石の舞台上島の子どもたちと一緒に上演。音楽家が島特産の石で作った楽器を使って子どもたちと一緒に舞台音楽を担当。 六島 期間：7月21日～9月26日 作家：住中浩史、三友周太 島にあるブイや蛸壺をピンホールカメラのような「カメラオブスクラ」にして島の各所に設置。また、島の廃屋などを利用して、光や音を取り込んだ作品を展示。 <p>高梁 AIR</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「アートオキュパプロジェクト 2015」 パリのアートオキュパプロジェクトのアーティストなど13名が、成羽町の旧布寄小学校で滞在制作を実施。吹屋の弁柄など、地域の素材に目を向けるとともに、「マルシェ」や「課外授業」などを開催して地域との交流を図りながら公開制作。作品は、高梁市本町の商家資料館池上邸などで展示。 期間：9月15日～11月1日 作家<海外> フランス3名、ポルトガル3名、ブラジル1名 <国内> 楽画鬼（美咲町在住）など6名

「町を編む」

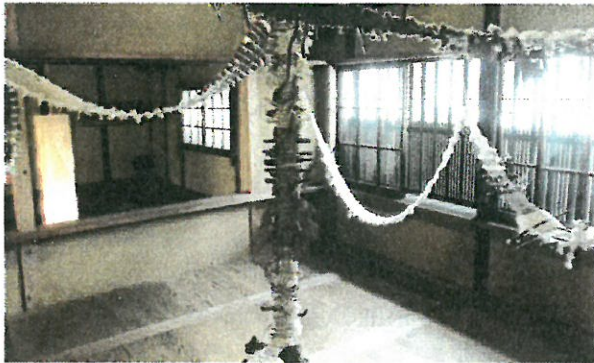


ワークショップ：編み込み



ワークショップ：撮影会

「bi chu watabokkee 一木から糸へー」



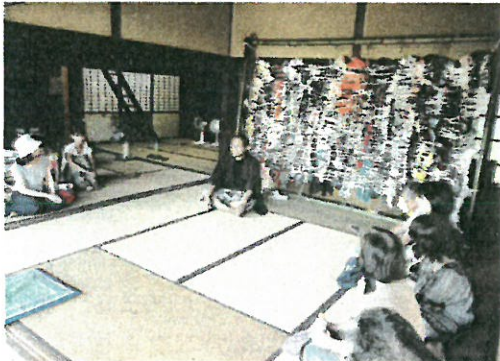
展示風景（遊美工房）

「フォトグラファーin 玉島」



セルカン・ヘキムジ制作風景

「笠岡諸島アートブリッジ」



柳楽晃太郎のアーティストトーク（白石島）



石の楽器を使った仮面劇を子どもたちと上演（北木島）

「アートオキュパプロジェクト 2015」



公開制作（旧布寄小学校）



作品展示（高梁市商家資料館池上邸）

アートプロジェクトおかやま推進事業イベント レジデンス事業開催状況

事業概要

「奥津温泉 AIR」ラクツポイント 2015

奥津温泉の特質を示す場所 2 箇所をラクツポイントと命名し、その特質を表現するための仕掛けや装置を制作して鑑賞者に巡ってもらう作品を制作・公開。旧奥津商工会館では、津山東高校苦田分校跡地に因み、当時の資料や現生徒の作品を展示。苦田ダム転流工では内部見学を実施。鏡野町文化資源保存伝習館では、木工作家のワークショップを実施するなど様々に展開。

作家：大谷俊一（美術家）

期間：平成 27 年 10 月 1 日～11 月 30 日 場所：奥津温泉周辺（鏡野町）

「湯原温泉 AIR」

湯原温泉街の空き家で滞在制作を行い、絵画や鉄造形によるインスタレーション作品を湯原温泉ミュージアムに展示。併せて、地域の子どもたち向けにクレイアニメーションのワークショップや、展示会場でのアニメーション上映会、音楽イベントなどを実施。

作家：中村智道（アニメーション作家）

期間：平成 27 年 10 月 1 日～12 月 31 日 場所：湯原温泉（真庭市）

湯郷アーティスト・イン・レジデンス「シュワーベ先生の温泉万華鏡 in 湯郷」

湯郷温泉街の「足湯」に、幾何学的で巨大なステンレス製の万華鏡を制作し設置。併せて、地域のイベントと連携したワークショップを実施。

作家：カスパー・シュワーベ（美術作家、神戸芸術工科大学教授）

期間：平成 28 年 2 月 1 日～3 月初旬 場所：湯郷温泉（美作市）

吹上美術館「F_AIR」

旧荻野美術館の建物を新たな文化施設として管理運営するクリエイターズラウンジの企画で、3 組の若手アーティストの滞在制作を実施。

期間：平成 27 年 11 月 21 日～平成 28 年 3 月 場所：吹上美術館（倉敷市下津井）

作家：

・「《（セン）》

相澤心也（写真家）と小田聖子（工芸家）によるアートユニットの公開制作と展示。相澤が制作した卵白プリントによる下津井の写真を使い、小田が額装を含めた空間装飾作品として展開。

・榎尾聡美（テキスタイルアート作家、岡山県立大学助教）

糸や布による巨大なインスタレーション作品の公開制作展。

・炭田紗季（画家）

絵画の制作によるオープンアトリエを実施。

「奥津温泉 AIR」 ヲクツポイント 2015



旧奥津商工会館での津山東高校生徒作品の展示



鏡野町文化資源保存伝習館での木工ワークショップ

「湯原温泉 AIR」



展示風景 (湯原温泉ミュージアム)



アニメーションワークショップ風景



音楽イベント

湯郷アーティスト・イン・レジデンス



打合せ風景

吹上美術館「F_AIR」



展示風景

温泉で楽しむアート「美作三湯芸術温度」の実施について

1 概要

県北部の美作三湯（湯郷、奥津、湯原）の宿泊施設に県内外の一流の現代アート作家 16 名を招いて作品の制作・展示を行い、この場所でしか味わうことができないアートを創造・発信する。

2 会期

平成 28 年 3 月 20 日（日）～6 月 30 日（木）

3 会場

美作三湯の各旅館組合に所属している 22 旅館等のロビー及びその周辺

4 キュレーター

岸本和明（奈義町現代美術館館長）

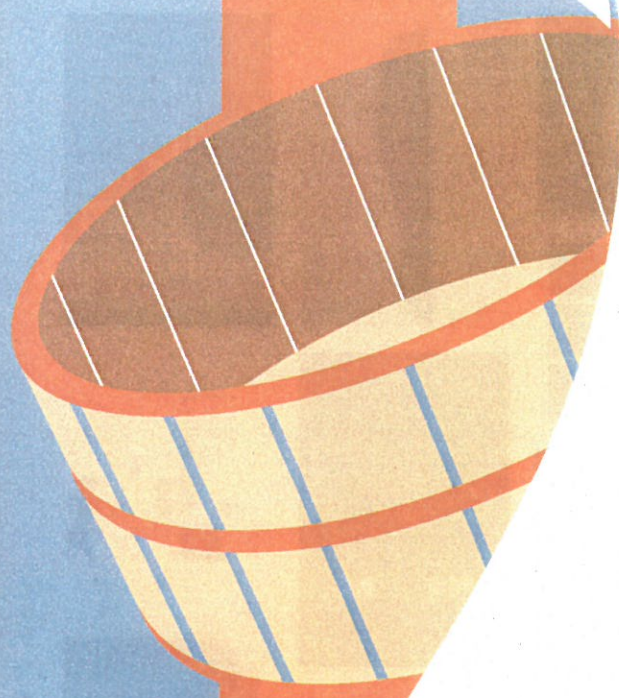
5 作家（16 名）

- | | | |
|--------|--------|--------|
| ・太田 三郎 | ・鈴木紗也香 | ・藤原 裕策 |
| ・小野 耕石 | ・高松明日香 | ・船井 美佐 |
| ・樫尾 聡美 | ・高本 敦基 | ・堀口 華江 |
| ・草間 喆雄 | ・徳持耕一郎 | ・松岡 徹 |
| ・胡桃澤千晶 | ・中島 麦 | ・母袋 俊也 |
| ・柴川 敏之 | | |

2016
3.20sun

6.30thu

「美作三湯」の温泉宿を
展示舞台にした新しい文化、
観光スポットの誕生です。



ARTIST

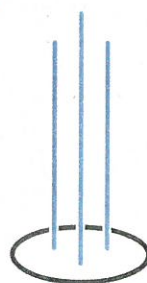
太田 三郎	小野 耕石	榎尾 聡美	草間 喆雄
胡桃澤 千晶	柴川 敏之	鈴木 紗也香	高松 明日香
高本 敦基	徳持 耕一郎	中島 麦	藤原 裕策
船井 美佐	堀口 華江	松岡 徹	母袋 俊也

CONCEPT

美作三湯は、豊かな自然に囲まれ、それぞれに古くからある歴史の面影を残した西日本有数の温泉です。この地を舞台に、県内外のアーティストを招いて、作品の制作・展示を通し、この場所では味わうことができない新しい文化価値を創造・発信していきます。

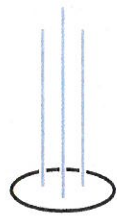
アーティストが持つものの見方や感じ方と、地域固有の歴史や文化が混在することで、三湯の奥深い世界に芸術活動を展開し、アートを通じて、まちや人との新しい出会いや交流の場が生まれることを望んでいます。

キュレーター 岸本 和明 (奈義町現代美術館)
【主催】岡山県、アートプロジェクトおかやま連携会議



美作三湯 芸術温度

Three hot springs of Mimasaka
Art temperature

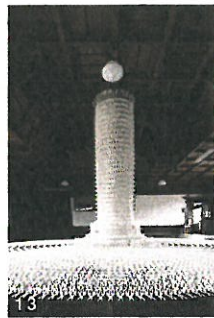
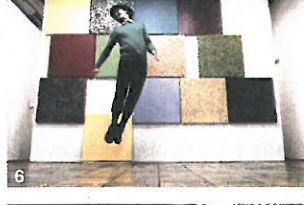
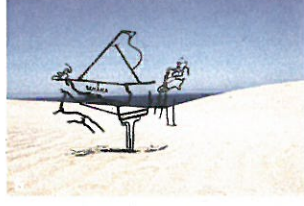
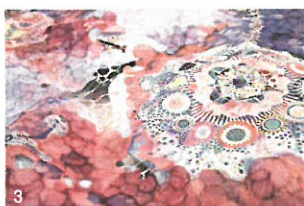


美作三湯 芸術温度

Three hot springs of Mimasaka
Art temperature

2016 3.20sun - 6.30thu

「美作三湯芸術温度」とは？
「みまさかさんとうげいじつつおんど」の
タイトルには、温泉のお湯の温かさ、
温泉宿で受けるあたたかいおもてなし、
アート鑑賞をした後の感動や発見など、
実際に体感することで得られるさまざまな
感覚を「温度」という言葉に託し、訪れる
人にこの「温度」を感じてもらいたい、その
アート作品から新しい感動や発見をして
もらいたいという思いが込められています。



1. 太田 三郎 (封筒の灯)
2. 小野 耕石 (Hundred Layers Colors) 撮影: 上野則宏
3. 樫尾 聡美 (signal)
4. 高松 明日香 (最後の忍者・飯)
5. 徳持 耕一郎 (砂上のデュオ1)
6. 中島 麦 (悲しき南回線 tristes tropiques)
7. 藤原 裕策 (石文、ミラゴロ、よいとまかせ)
8. 母袋 俊也 (絵画のための垂直箱窓-FUKUSHIMA 1~4)
9. 草間 喆雄 (FLOW1)
10. 胡桃澤 千晶 (よどもにうかぶうたかたは)
11. 柴川 敏之 (《出現II.40080304 (2000年後の温泉道跡で発掘された招き猫の化石)》)
12. 鈴木 紗也香 (留めるために内包する記憶)
13. 高本 敦基 (Life in the fall_48623.1)
14. 船井 美佐 (Paradise / Boundary) 撮影: 木奥恵三
15. 堀口 華江 (露赤)
16. 松岡 徹 (海神さん) 撮影: 香村聖文

*作家名は順不同です。
写真は展示作品と異なる場合があります。

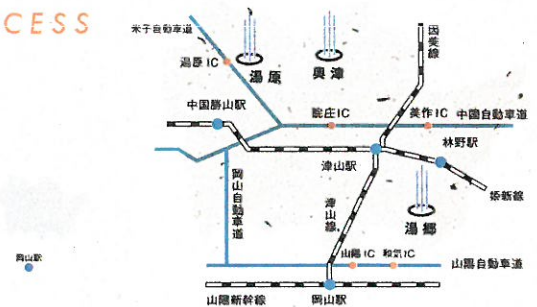
【お問い合わせ】
アートプロジェクトおかやま連携会議事務局
(〒700-8570 岡山市北区内山下2-4-6 岡山県文化振興課内)
TEL: 086-226-7903 (8:30~17:15 / 土日祝を除く)

美作三湯芸術温度 検索

ARTIST 温泉宿

湯郷	小野 耕石	- ゆのこう美春閣、リゾートイン湯郷
	胡桃澤 千晶	- やさしさの宿竹亭、ふくます亭
	藤原 裕策	- 和モダンなお宿かつらぎ
	柴川 敏之	- ポーリスプリングス リゾート&スパ
	鈴木 紗也香	- 清次郎の湯 ゆのこう館
	高松 明日香	- 湯郷グランドホテル
	中島 麦	- 湯郷温泉 花の宿 にしき園
	船井 美佐	- 季節の里
	母袋 俊也	- 季節の里
奥津	草間 喆雄	- 名泉鍵湯 奥津荘、米屋倶楽部 奥津
	徳持 耕一郎	- 東和楼
	徳持 耕一郎	- 河鹿園
	他	
湯原	太田 三郎	- 八景
	樫尾 聡美	- ゆばらの宿 米屋
	高本 敦基	- 菊乃家旅館
	徳持 耕一郎	- 森のホテルロシュフォール
	堀口 華江	- 湯原国際観光ホテル 菊之湯、湯めぐりの宿 松の家 花泉
	松岡 徹	- 元禄旅館 油屋、湯の蔵 つるや

ACCESS

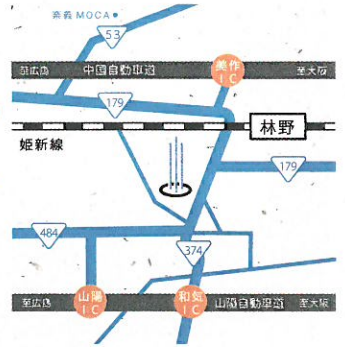


湯郷

岡山駅からJRとバスで
岡山駅 → 姫新線林野駅
→ 宇野バス湯郷温泉下車(約10分)

岡山からバスで
岡山駅 → 宇野バス湯郷温泉下車
(約1時間30分)

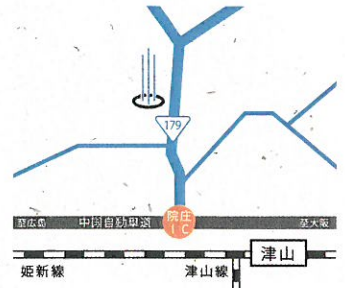
車で
美作IC → 374号 (約5分)
和気IC → 374号 (約50分)
山陽IC → 484号
→ 374号 (約55分)



奥津

岡山駅からJRとバスで
岡山駅 → 津山駅
→ 中鉄バス 奥津温泉もしくは
石越行き奥津温泉下車(約55分)

車で
院庄IC → 179号 (約25分)

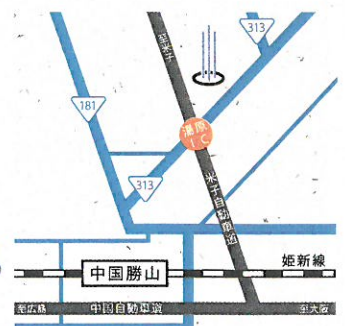


湯原

岡山駅からJRとバスで
岡山駅 → 姫新線中国勝山駅
→ 勝山バスセンター
→ 湯原温泉下車(約35分)

岡山からバスで
岡山駅 → 勝山バスセンター
→ 湯原温泉下車(岡山駅から湯原
温泉バス停まで約2時間30分)

車で
湯原IC → 313号 (約5分)



アートで彩る卒業式の実施について (案)

1 概要

大学生等の協力を得て、卒業式や閉校式などにあわせて小学校の黒板や式典会場壁面にアートを施すなど、児童の思い出に残る作品を制作・公開することで、特別な一日がさらに記憶に残る日となるよう演出するとともに、児童にアートの魅力を伝える。

2 時期

平成 28 年 3 月に開催される卒業式または閉校式の日

3 スケジュール

- ・ 3月20日前後の卒業式・閉校式
- ・ 4校程度で調整中

4 「派遣」する学生

県内大学・短大の美術系学部・学科、サークルに所属する学生

- ・ 岡山大学 美術部
- ・ 岡山県立大学 総合芸術部 Vespa!

イメージ図

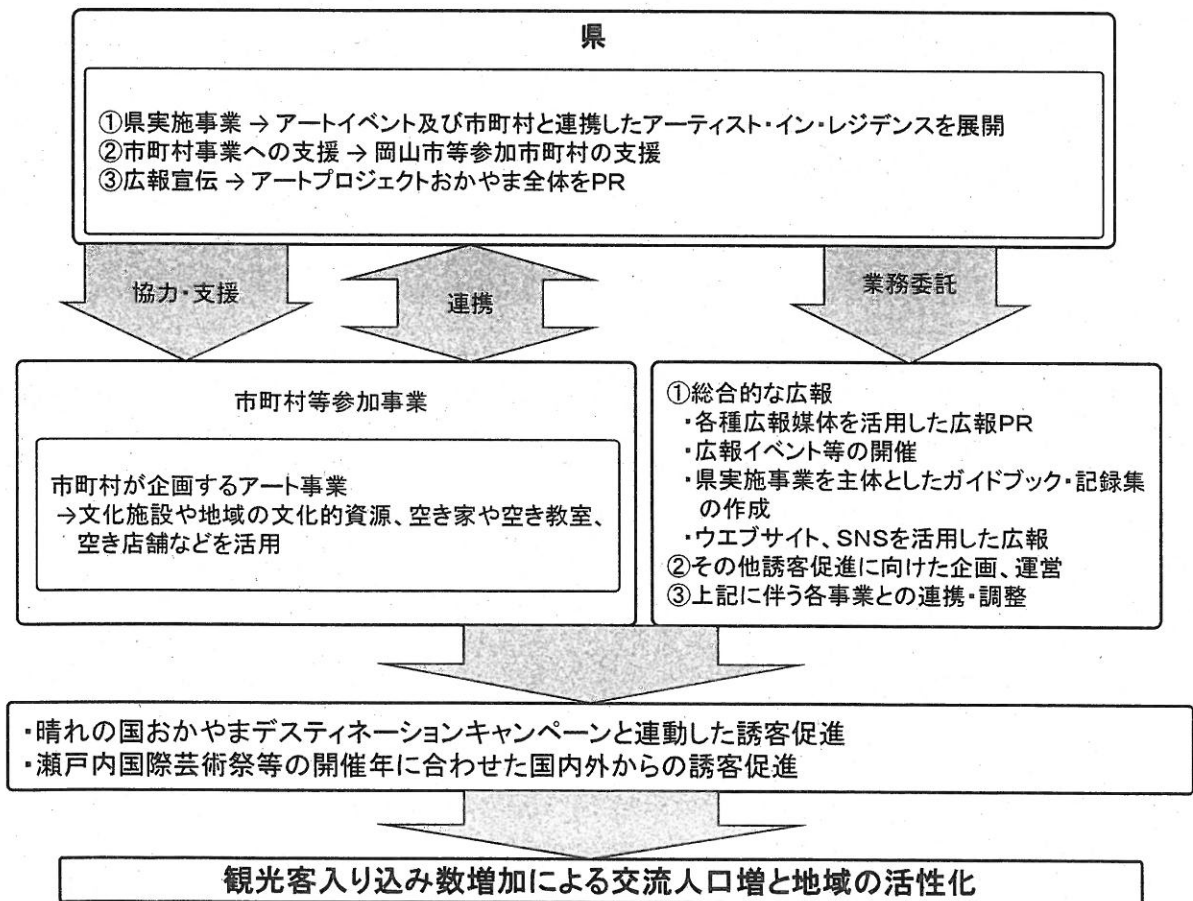


重点事業調書

担当部局・課名		環境文化部文化振興課												
生き 活 き プ ラン	重点戦略	Ⅲ 安心で豊かさが実感できる地域の創造												
	戦略プログラム	7 生きがい・元気づくり支援プログラム												
	施策	1 文化とスポーツを核とした地域の活性化												
総 合 戦 略	基本目標	4 地域の活力を維持する												
	対策	4 地域の持続的発展のための活力の維持												
	政策パッケージ	4-①地域社会の活性化												
重点事業の名称		アートプロジェクトおかやま推進事業												
終期設定(年度)	28	予算区分	一般	事項名	芸術文化活動費									
現状・課題・根拠	<p>○岡山県では、平成22年の国民文化祭で古代吉備の国の繁栄以来、育んできた特色ある文化を全国に発信した後も県民文化祭やおかやま芸術回廊事業等の実施、アートを活用した交流事業や人材育成事業に取り組んできた。H22:国民文化祭おかやま2010 H24:岡山芸術回廊 H25～H27:アートブリッジおかやま形成事業</p> <p>○喫緊の課題である地方創生を実現するためには、地域資源を大切にしながら新しい文化の風を県内各地に巡らせ、人と地域を元気にしていく必要がある。</p> <p>○平成28年度は、晴れの国おかやまデスティネーションキャンペーン実施に加え、瀬戸内国際芸術祭2016をはじめとするアートイベントの開催により、国内外からの観光客の増加が見込まれる。</p>													
事業の内容	<p>○アートプロジェクトおかやま推進事業《100,000千円》 アーティスト・イン・レジデンス（作家による滞在制作）など、地域資源を活用したアートイベントを実施することで集客を図り、地域の活性化に資する。</p> <p>1 県主催事業《41,077千円》 主な事業 ①アーティスト・イン・レジデンス ②クラシックと舞踊のコラボレーション ③温泉で楽しむアート ほか</p> <p>2 新市町村事業への支援《54,923千円》 アートプロジェクトおかやまに参加する市町村が企画する事業の事業費を2分の1以内で助成する。</p> <p>3 新広報宣伝《4,000千円》 アートプロジェクトおかやまの県事業と市町村事業を共同で国内外にPRする。</p>													
事業の意図・効果等	<p><事業の意図・効果> 地域資源を活用し、国内外に岡山から発信するアートをアピールすることで地域の活性化、誘客促進に資する。</p>													
	<p><当該事業の目標設定></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">県民満足度調査「普段の生活の中で、芸術・文化、スポーツ等を実践したり、観て楽しめる地域になっている」に満足又はやや満足と回答した者の割合</td> <td style="width: 10%;">現 状</td> <td style="width: 15%;">H28</td> <td style="width: 15%;">H29</td> <td style="width: 5%;"></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">29.1%</td> <td style="text-align: center;">35.0%</td> <td style="text-align: center;">36.0%</td> <td></td> </tr> </table>					県民満足度調査「普段の生活の中で、芸術・文化、スポーツ等を実践したり、観て楽しめる地域になっている」に満足又はやや満足と回答した者の割合	現 状	H28	H29			29.1%	35.0%	36.0%
県民満足度調査「普段の生活の中で、芸術・文化、スポーツ等を実践したり、観て楽しめる地域になっている」に満足又はやや満足と回答した者の割合	現 状	H28	H29											
	29.1%	35.0%	36.0%											
総合戦略との関係	関連生き活き指標		現状値	目標値										
	県民満足度調査「普段の生活の中で、芸術・文化、スポーツ等を実践したり、観て楽しめる地域になっている」に満足又はやや満足と回答した者の割合		29.1%	35.0%										
	関連重要業績評価指標		現状値	目標値										
	県民満足度調査「普段の生活の中で、芸術・文化、スポーツ等を実践したり、観て楽しめる地域になっている」に満足又はやや満足と回答した者の割合		29.1%	38.0%										
事業費の見積もり	区 分	H27 予算額	H28 予算要求額	H29 見込額	H30 見込額	H31以降見込額								
	事業費(単位:千円)		100,000											
	財源内訳	一般財源		81,450										
		起 債												
その他特定財源			18,550											

アート・プロジェクトおかやま推進事業

事業	3月	H28/4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
県実施事業			笠岡市(白石島、北木島、六島) 5月		8月				総社市(砂川公園、池上邸) 11月~2月				
							真庭市(勝山) 9月~10月						
							美咲町(旧大塚和小学校) 9月~11月						
							勝央町 8月~9月						
									倉敷市(倉敷市民会館) 10/29,30				
											岡山市(ルネスホール) 11/16~12/12		
クラシックと舞踊のコラボレーション											岡山市(ルネスホール) 11/26		
温泉で楽しむアート	美作三湯 3/20~6/30												
片山真理展/講演会													
国吉康雄展									岡山市(県立美術館) 9/23~11/6				
市町村事業への支援	市町村事業への支援												
広報宣伝	アートイベント&DCキャンペーンPR 岡山市(イオンモール岡山未来スクエア) 3月下旬												
晴れの国おかやまデスティネーションキャンペーン(DC)	DC												
瀬戸内国際芸術祭2016	春会期 3/20~4/17				夏会期 7/18~9/4				秋会期 10/6~11/6				



県立美術館事業について

国内外の優れた芸術活動を紹介する展覧会や美術館講座の開催等、県立美術館の機能を最大限に活用した事業を展開した。

1 展覧会事業

(1) 平成27年度特別展

展覧会名	期間	入館者数(人)
MOOMIN! ムーミン展	3/20 ~ 4/19	47,085
有為自然—岡崎和郎、伊勢崎淳、中西夏之	4/28 ~ 6/7	3,395
微笑みに込められた祈り 円空・木喰展	7/17 ~ 8/23	15,612
岡山県美術展覧会	9/2 ~ 9/13	7,910
第62回日本伝統工芸展岡山展	11/12 ~ 11/29	6,569
宮川香山—没後100年 虫明焼と明治の陶芸—	3/18 ~ 5/8	

(2) 平成28年度特別展等

展覧会名	期間
宮川香山—没後100年 虫明焼と明治の陶芸—	3/18 ~ 5/8
原田直次郎展	5/27 ~ 7/10
仙台伊達家の名宝	7/15 ~ 8/28
岡山県美術展覧会	9/7 ~ 9/18
浦上玉堂と春琴・秋琴父子の芸術世界	9/23 ~ 10/30
国吉康雄展<アートプロジェクトおかやま推進事業>	9/23 ~ 11/6
第63回日本伝統工芸展岡山展	11/17 ~ 12/4
世界名作劇場	3/17 ~ 5/7

2 次世代ミュージアムファン確保事業

若い世代の人たちに「美術館とのよき出会い」や「生涯を通じ芸術に触れるきっかけ」を積極的に提供することで、美術館を身近に感じ、生涯にわたって美術館に足を運ぶ環境づくりを目指すもの。

○グッド・スタート・ミュージアム事業

- ・アート・トラベリング・トランク等を活用した美術館学習プログラムの実施
- ・県立美術館、県立博物館、オリエント美術館が連携して校外学習を受け入れるモデルプランの検討
- ・県立美術館を利用する学校へのバス代サポート



○ キャンパスメンバーズ制度の導入

大学生等に気軽に美術館へ足を運んでもらうため、既に県で取り組んでいた「岡山後楽園等キャンパスメンバーズ制度」に、平成 27 年 1 月から岡山県立美術館も参加した。大学や短期大学、専修学校等に所定の会費負担を依頼し、メンバーになった学校（現在 24 校）に在席している学生に展覧会（特別展を除く）を無料で鑑賞してもらう制度である。

平成 27 年の大学生等来館実績 627 人（うち制度利用 403 人）

*平成 26 年：394 人

3 「おとなり美術館」事業

県立美術館と市立オリエント美術館が連携し、定期的に展覧会情報等の交換を行いながら、相互の情報発信と利用促進を目指す取組を昨秋から進めている。

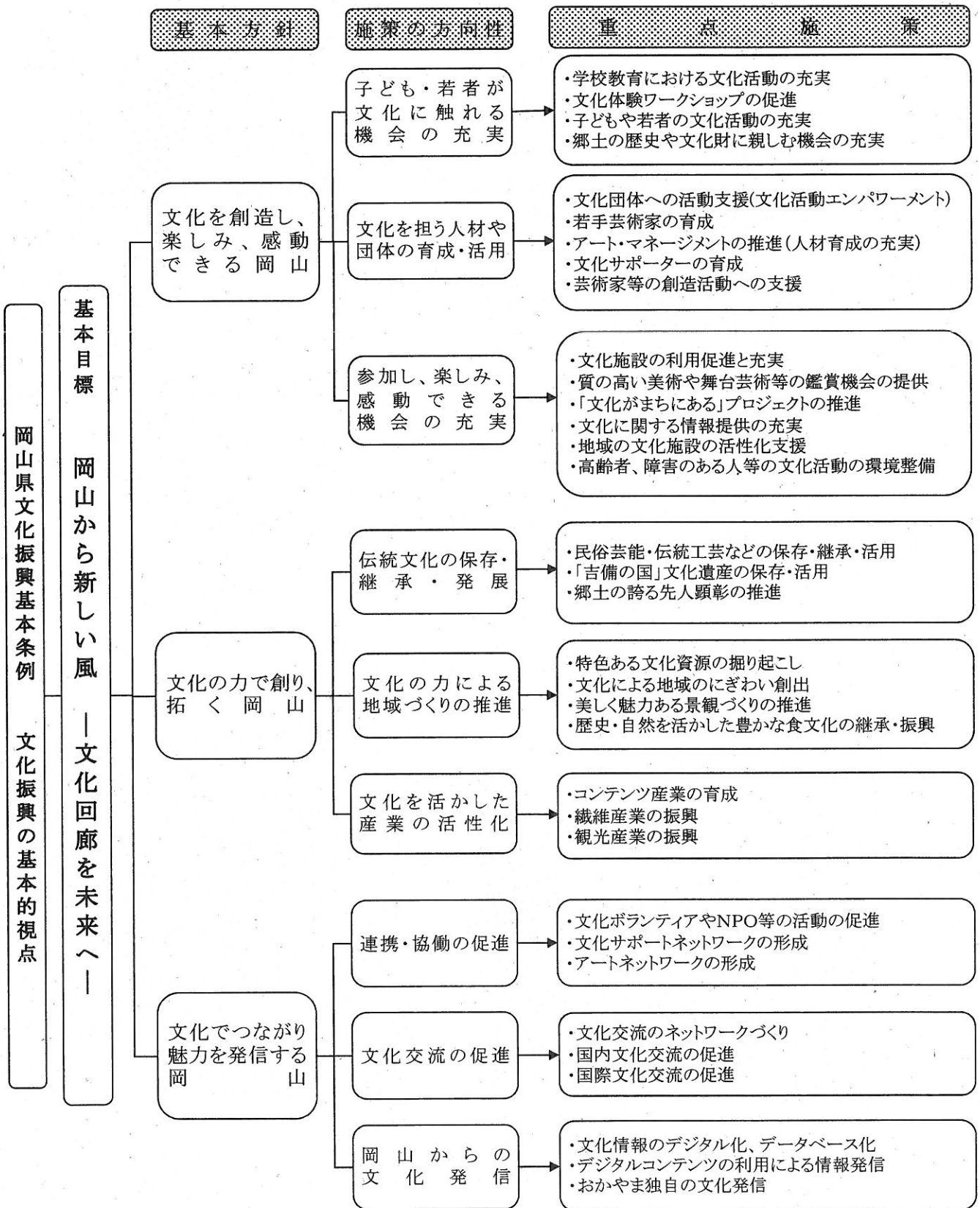
- ・ポスターやチラシ等で相互の展覧会をPRするコーナーの設置
- ・所蔵品を1点ずつ交換して紹介する「サテライト展示」
- ・入館チケットの半券を相手館に提示すると団体料金で鑑賞できる制度の導入
- ・美術館ボランティアの相互勉強会の開催
- ・一方の館が行う展覧会に関連する応援展示（事業）や共通テーマでの展覧会企画の検討 等



4 アートプロジェクトおかやま推進事業

- ・リーフレットの多言語化
（英語：2万部、中国語2種・フランス語・韓国語：各1万部）
- ・音声ガイドシステムの作成

お か や ま 文 化 振 興 ビ ジ ョ ン 施 策 体 系



○おかやま文化振興ビジョンとは・・・

- 岡山県文化振興基本条例に基づく、文化振興に関する基本計画として平成20年に策定
- 取組期間は10年間(平成20年度～平成29年度)
- 平成24年度に中間見直しを行い改訂(成果指標(数値目標)の導入)

文化振興ビジョンにおける成果指標の実績

1 文化を創造し、楽しみ、感動できる岡山

(1) 子ども・若者が文化に触れる機会の充実

指 標 名	現 況 値 (時 点)	目 標 値 (H29年度)	H24年度	H25年度	H26年度	直近の実績値 (H27.12末)
学校行事で県立美術館を訪れた 人数	4,104人 (H23年度)	4,400人	5,848人	3,518人	2,734人	1,803人
(説明)授業や部活動などの学校行事で県立美術館を訪れた人数						
ワークショップ参加者数	908人 (H21～H23平均)	1,000人	2,632人	2,318人	2,592人	1,617人
(説明)県立美術館、天神山文化プラザ、ルネスホールが開催したワークショップに参加した人数						
アウトリーチ活動実施回数	28回 (H21～H23平均)	30回	45回	39回	36回	19回
(説明)県立美術館、県立博物館、ルネスホールが実施したアウトリーチ活動の回数						

(2) 文化を担う人材や団体の育成・活用

指 標 名	現 況 値 (時 点)	目 標 値 (H29年度)	H24年度	H25年度	H26年度	直近の実績値 (H27.12末)
あっ晴れ！子どもみらい塾講師 派遣回数	338回 (H21～H23平均)	380回	341回	420回	464回	478回
(説明)岡山県文化連盟が芸術・文化の指導者を講師として学校等に派遣した回数						
文化関係各種助成金の採択件数	22件 (H23年度)	25件	21件	34件	27件	34件
(説明)文化庁、日本芸術文化振興会、地域創造等の団体が募集した助成金事業に採択された件数						
文化施設担当者研修会への参加 者数	143人 (H23年度)	150人	164人	301人	160人	113人
(説明)岡山県博物館協議会主催の研修会へ参加した人数						
岡山県美術展覧会への応募点数	3,272点 (H23年度)	3,500点	3,384点	3,450点	3,254点	3,279点
(説明)岡山県美術展覧会へ一般応募された作品(日本画、洋画、工芸、書道、写真、彫刻、デザイン)の点数						
岡山県文学選奨への応募作品数	392件 (H24年度)	500件	392件	390件	428件	491件
(説明)岡山県文学選奨に応募のあった作品(小説、随筆、現代詩、短歌、俳句、川柳、童話)の数						

(3) 参加し、楽しみ、感動できる機会の充実

指 標 名	現況値 (時点)	目標値 (H29年度)	H24年度	H25年度	H26年度	直近の実績値 (H27.12末)
文化施設利用者数(※)	531,106人 (H23年度)	700,000人	527,721人	477,784人	455,719人	363,000人
(説明) 県立美術館、天神山文化プラザ、ルネスホール、犬養木堂記念館、岡崎嘉平太記念館、県立博物館の利用者数						
県立美術館の講座等への参加者数	1,646人 (H23年度)	2,500人	3,439人	3,418人	5,117人	2,098人
(説明) 県立美術館が実施する美術館講座、美術のタペ、講演会、フラワーレクチャー等への参加者数						
優れた芸術を鑑賞した学校数	85校 (H23年度)	475校	179校	292校	421校	542校
(説明) 県や国が実施するスクールコンサートや、青少年劇場、巡回公演事業等を開催した学校の累積数						
県民文化祭参加者数	252,914人 (H23年度)	350,000人	347,757人	358,116人	381,729人	(集計中)
(説明) おかやま県民文化祭への総参加者数						
「おかやま文化の駅」ホームページアクセス数	27,742件 (H23年度)	35,000件	20,572件	14,506件	23,217件	19,476件
(説明) 県内の文化施設や文化イベント等を紹介するホームページ「おかやま文化の駅」へのアクセス数						

2 文化の力で創り、拓く岡山

(1) 伝統文化の保存・継承・発展

指 標 名	現況値 (時点)	目標値 (H29年度)	H24年度	H25年度	H26年度	直近の実績値 (H27.12末)
日本伝統工芸展への応募点数	146点 (H23年度)	150点	130件	133点	112点	110点
(説明) 日本伝統工芸展に県内在住者が応募した点数						
登録文化財の登録件数	251件 (H23年度)	300件	252件	268件	274件	274件
(説明) 登録文化財の登録件数						
後楽園の入園者数	664,503人 (H23年度)	765,000人	661,175人	659,121人	700,758人	635,960人
(説明) 後楽園の入園者数						

(2)文化の力による地域づくりの推進

指 標 名	現況値 (時点)	目標値 (H29年度)	H24年度	H25年度	H26年度	直近の実績値 (H27.12末)
おかやま県民文化祭地域フェスティバル参加者数	33,073人 (H23年度)	40,000人	90,280人	257,400人	259,205人	(集計中)
(説明)おかやま県民文化祭地域フェスティバル(備前・備中・美作)への参加者数						
地域の景観づくりに主体的に取り組む景観行政団体(市町村)数	6団体 (H23年度)	10団体	6団体	7団体	7団体	8団体
(説明)景観計画の策定等、地域独自の景観形成施策を実施する景観行政団体(市町村)数						
地産地消協力店の登録店舗数	262店舗 (H23年度)	290店舗	288店舗	304店舗	330店舗	337店舗
(説明)県産食材を積極的に提供する県内小売店や飲食店を「地産地消協力店」として県が登録した店舗数						

(3)文化を活かした産業の活性化

指 標 名	現況値 (時点)	目標値 (H29年度)	H24年度	H25年度	H26年度	直近の実績値 (H27.12末)
IT・コンテンツ人材育成研修等への参加者数	36人 (H23年度)	40人	95人	48人	69	29
(説明)県の委託により実施したIT・コンテンツ人材育成関連の研修に参加した人数						
観光客入り込み数	1,459万人 (H23年暦年)	1,500万人	1,322万人 (H24暦年)	1,232万人 (H25暦年)	1,422万人 (H26暦年)	-
(説明)県内観光施設等への観光客入り込み数						

3 文化でつながり魅力を発信する岡山

(1)連携・協働の推進

指 標 名	現況値 (時点)	目標値 (H29年度)	H24年度	H25年度	H26年度	直近の実績値 (H27.12末)
おかやま県民文化祭地域フェスティバル実行委員会への参加団体数	34団体 (H23年度)	40団体	43団体	29団体	82団体	49団体
(説明)おかやま県民文化祭地域フェスティバル(備前・備中・美作)の実行委員会に参加した団体数						
あつ晴れ！子どもみらい塾講師派遣回数	338回 (H21～H23平均)	380回	341回	420回	464回	478回
(説明)岡山県文化連盟が芸術・文化の指導者を講師として学校等に派遣した回数						

指 標 名	現 況 値 (時 点)	目 標 値 (H29年度)	H24年度	H25年度	H26年度	直近の実績値 (H27.12末)
「おかやま文化の駅」ホームページアクセス数	27,742件 (H23年度)	35,000件	20,572件	14,506件	23,217件	19,476件
(説明)県内の文化施設や文化イベント等を紹介するホームページ「おかやま文化の駅」へのアクセス数						
県立美術館ボランティア数	81人 (H24年度)	85人	81人	80人	92人	94人
(説明)県立美術館に登録しているボランティア数						

(2)文化交流の促進

指 標 名	現 況 値 (時 点)	目 標 値 (H29年度)	H24年度	H25年度	H26年度	直近の実績値 (H27.12末)
国民文化祭への派遣団体数	18団体 (H24年度)	20団体	18団体	7団体	8団体	11団体
(説明)国民文化祭への派遣団体数						
国際文化交流事業に参加した生徒数	— (H23年度)	900人	162人	162人	162人	261人
(説明)国際文化交流事業(韓国・中国)に参加した高校生の累積数						

(3)岡山からの文化発信

指 標 名	現 況 値 (時 点)	目 標 値 (H29年度)	H24年度	H25年度	H26年度	直近の実績値 (H27.12末)
普段の生活の中で、芸術・文化、スポーツ等を実践したり、観て楽しめる地域になっていると感じる人の割合	25.6% (H23年度)	36%	31.1%	31.3%	28.5%	29.1%
(説明)県民満足度調査普段の生活の中で、芸術・文化、スポーツ等を実践したり、観て楽しめる地域になっていると感じる人の割合						
「おかやま文化の駅」ホームページアクセス数	27,742件 (H23年度)	35,000件	20,572件	14,506件	23,217件	19,476件
(説明)県内の文化施設や文化イベント等を紹介するホームページ「おかやま文化の駅」へのアクセス数						
内田百閒文学賞への応募作品数	340件 (H24年度)	350件 (H28年度)	340件	—	306件	—
(説明)内田百閒文学賞に応募のあった作品(随筆、短編小説)の数						
ラジオ番組による文化情報等の発信回数	— (H23年度)	100回	26回	52回	78回	事業終了
(説明)県内の文化情報を定期的なラジオ番組として情報発信した回数(各年度の数値は累計で計上)						

国指定文化財

重要無形民俗文化財

名 称	所在地	保護団体	指定年月日
1 白石踊	笠岡市白石島	白石踊会	昭和51年 5月 4日
2 備中神楽	備中地方	備中神楽成羽保存会	昭和54年 2月 3日
3 大宮踊	真庭市蒜山地方	大宮踊保存会	平成 9年12月15日
4 西大寺の会陽	岡山市東区西大寺中	西大寺会陽奉賛会	未定

記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財

名 称	所在地	保護団体	選抜年月日
1 備中神楽	高梁市成羽町	備中神楽保存会	昭和45年 6月 8日
2 白石踊	笠岡市白石島	白石踊会	昭和46年 4月21日
3 大宮踊	真庭市蒜山地方	大宮踊保存会	昭和46年11月11日
4 唐子踊と太刀踊	瀬戸内市牛窓町・同市邑久町	唐子踊太刀踊連合保存会（唐子踊保存会・太刀踊保存会・粟利郷区太刀踊保存会）	昭和50年12月 8日
5 ヒッタカ	笠岡市金浦	ヒッタカ保存会	昭和51年12月25日
6 布施神社のお田植祭	鏡野町富東谷	布施神社お田植祭保存会	昭和53年 1月31日
7 吉備津彦神社御田植祭	岡山市北区一宮	吉備津彦神社御田植祭保存会	昭和54年12月 7日
8 備中の辻堂の習俗	岡山県		昭和56年12月24日
9 千屋代城のとうや行事	新見市大字千屋小字代城	稲倉魂の会（うかのみたまのかい）	昭和58年12月16日
10 美作の護法祭	美咲町 久米南町	護法祭奉賛会	昭和60年12月20日
11 岡山県の会陽の習俗	岡山県		平成15年 2月20日
12 弘法寺脚供養	瀬戸内市	弘法寺脚供養保存会	未定

1 重要無形民俗文化財の指定

西大寺の会陽

- (1) 所在地 岡山市東区西大寺中
(2) 保護団体 西大寺会陽奉賛会
(3) 公開期日 毎年2月の第3土曜日
(4) 概要

①文化財の特色

仏教法会である修正会に由来し、また、修正会に伴って行われる民俗行事は各地に伝承されるが、会陽と呼ばれ、裸の男性たちが宝木を奪い合う年頭の裸祭りは、岡山県下と香川県の一部の地域に伝承されてきたもので、地域的特色が顕著である。会陽は、岡山市内を中心にかつては100か所以上の地域で行われていたが、今日ではその多くが廃絶している。そうした中で、西大寺の会陽は、伝承状況も良好で、行事の規模も大きく、宝木の取扱いに関する儀礼も守られており、会陽の典型例として貴重である。我が国の民間信仰を考える上で、また、修正会に関する民俗行事の地域差や変遷を理解する上で重要である。

②文化財の説明

本件は、岡山県岡山市東区にある西大寺に伝承される年頭の裸祭りで、修正会の最終日に当たる結願の日に、数千人に及ぶまわし姿の男性たちが福を求めて本堂に参集し、宝木と呼ばれる木製の護符を奪い合う。

会陽の当日は、参加する男性たちが西大寺境内の垢離取場で身を清め、地押しと称して境内を練った後、本堂に参集する。その数は数千人に及び、本堂の大床の上で、本押しと称してもみ合いをする。午後10時になると、本堂内陣の御福窓から西大寺住職が2本の宝木をその年の恵方に向けて投下し、それをめぐって激しい争奪戦が繰り広げられる。宝木を取った者は、西大寺近くに設けられた仮受所に向かい、白米を盛った一升枧に宝木を突き立て、取った宝木の検分が無事に終わると福男となる。その後、宝木は祝主がもらい受ける。

〈参 考〉

- 昭和34年3月27日、「西大寺の会陽」を岡山県指定重要無形民俗文化財に指定。
- 平成15年2月20日、「岡山県の会陽の習俗」を記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財に選択（国）。
- 平成17年度～18年度、「岡山県の会陽の習俗」総合調査実施。
→『岡山県の会陽の習俗』発行（平成19年3月31日、岡山県教育委員会）。
- 平成22年3月、『「岡山県の会陽の習俗」映像記録』作成。

※全国の重要無形民俗文化財 290件（平成28年1月1日現在）。

→今回新たに、6件の指定が決定。

岡山県内の重要無形民俗文化財 3件（平成28年1月1日現在）。

2 記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財の選択

弘法寺脚供養

- (1) 所在地 瀬戸内市牛窓町千手
- (2) 保護団体 弘法寺脚供養保存会
- (3) 公開期日 毎年5月5日
- (4) 概要

①文化財の特色

本件は、岡山県瀬戸内市牛窓町の千手山弘法寺に長く伝承されるもので、中将姫の木像を六菩薩が捧持し阿弥陀如来の待つ浄土へ導く練供養であり、阿弥陀仏の胎内に人が入り、実際に動いて往生者を迎える「迎え仏」が登場することが特徴である。同種の練供養の中でも地域的特色が顕著であり、芸能の変遷の過程を示している貴重である。

②文化財の説明

本件は、岡山県瀬戸内市の千手山弘法寺で長く行われている練供養である。面をかぶり装束を着けて地藏菩薩・観音菩薩などに扮した人々が、娑婆の往生者（中将姫）を迎え、阿弥陀如来の待つ極楽浄土に連れ帰る様子を厳かに演じるものである。特に本尊の阿弥陀如来の仏像をかぶって、表で実際に往生者を出迎える「迎え仏」のさまを演じる点で、歴史的に古い練供養の様子をうかがわせるものとして注目されている。

全国にある同種の「練供養」や「来迎会」の中でも、本尊の阿弥陀如来が実際に動いて登場する迎え仏の形式を残しているのは本件のみであり、芸能の変遷の過程や地域的特色を示している。

〈参 考〉

○昭和32年5月13日、「弘法寺練供養」を岡山県指定重要無形民俗文化財に指定。

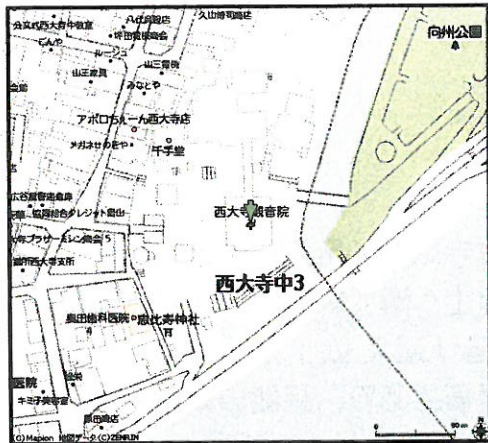
※「記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財」について

- ・国指定以外の無形民俗文化財のうち特に必要があるものを国が選択して、国自ら記録の作成、保存、公開を行い、または適当な者による公開の援助若しくは記録の作成、保存、公開の援助を行うもの。
- ・選択により新たに規制が加わることはない。

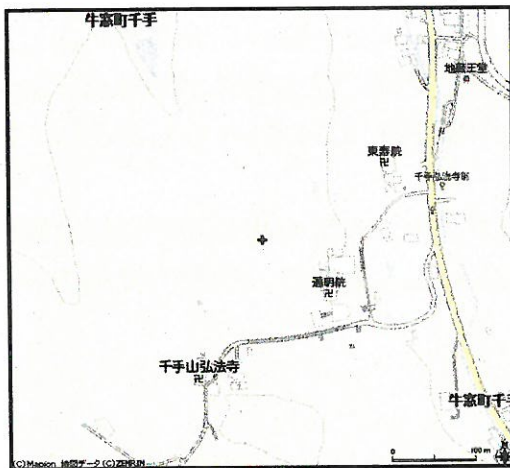
※全国の記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財 618件（平成28年1月1日現在）。

→今回新たに、5件の選択が決定。

岡山県内の記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財 11件（平成28年1月1日現在）。



西大寺の会陽



弘法寺蹴供養

趣旨

芸術文化振興上の課題解決のため推進することが必要な公演、展示等の芸術活動やその基盤となる取組について、着実に機動的な実施を図るため、公演・展示等の要件（分野、内容、開催地域、対象者、参加者、実施上の留意点等）を示し、芸術団体、関係機関等から企画提案を受け、選考した活動について、国が芸術団体等に委託して実施。これにより、我が国の文化芸術の水準の向上と国民の鑑賞機会の充実を図り、「文化芸術立国」の推進に資する。

事業内容

課題の選定

【芸術文化振興上の課題例】

- 実演芸術の世界水準への向上と世界へのアピールが求められている。
- 地方での優れた実演芸術の鑑賞機会が少ない。
- 高齢者、子育て中の保護者等の文化芸術活動の充実や、青少年に対する多様な経験の提供が求められている。
- 障害者の優れた芸術活動の普及の促進が求められている。
- オリンピック・パラリンピックを見据えた場合、海外からの訪日者に対し、我が国の文化活動情報や魅力的な公演が十分に発信されていない。
- 文化芸術が生み出す社会への波及効果を社会課題の解決や改善に繋げることが求められている。...etc

要件の提示

要件の提示

【想定される取組の例】

- 世界的な指導者等を招へいた公演の実施、世界的な評論家を招待した論評の世界への発信
- 地方における優れた公演の実施
- 鑑賞ガイドの作成、入場料軽減の実施
- 障害者の優れた芸術活動の成果を発表するための展示・公演等の実施
- 伝統芸能と西洋の芸術を融合した舞台など分野を横断した我が国を代表するアーティストによる公演等の実施
- 国内で行われる様々な公演を自律的に一元化し、国内外に発信する仕組みを構築するための調査研究を実施
- 文化芸術による新たな社会モデルの構築に向けた基盤的な取組を実施

企画公募による事業実施

【効果】

- 我が国の芸術文化の水準が世界的なものに高まる → 世界への日本文化の普及とインバウンド拡大
- 国民の優れた舞台芸術公演の鑑賞機会の充実 → 居住地域による鑑賞機会の格差の縮小
- 観客層の拡大 → 入場料収入の増 → 公演数や質の向上 → 観客層拡大といったプラスのスパイラル効果
- 障害者の芸術作品の実態把握・展示の推進 → 障害者の芸術活動の充実
- 我が国の文化を理解する外国人が増加する → 世界に敬愛される文化の国として「世界の文化交流のハブ」となる



2020年に東京で開催されるオリンピック・パラリンピック競技大会を、スポーツのみならず文化の祭典として、日本全国で特色ある文化活動が行われる大会にするとともに、同大会終了後も文化芸術による地域の活性化など、その成果が継承されるよう、地方公共団体が行う、地域の文化資源等を活用した計画的な文化芸術活動や、**全国津々浦々で文化事業を実施するための文化施策推進体制の構築を促進する取組**を支援

補助率：1/2を上限に支援

支援対象の文化芸術活動

文化芸術で地域を活性化する取組

地域の様々な魅力ある文化芸術を再生又は創出し、発展させる取組や、大学との連携による文化芸術の創造発展につながる取組をはじめ、地域の文化芸術の担い手の育成につながる取組

【取組例】

- ・ 地域の音楽、踊り、演劇の公演、ワークショップ、アウトリーチ
- ・ メディア芸術の展示、地域の文化資源を活用した現代アート展
- ・ 地域の大学教員、学生、卒業生等によるオペラ、オーケストラ公演、美術展

支援件数：
都道府県 29事業
市町村 58事業



石川県「吹奏楽の日」

地域の文化施策推進体制の構築を促進する取組

新規

専門性を有する組織を活用した文化芸術政策の企画立案・実行、地域の文化芸術活動への助成、調査研究等を実施する体制の構築を促進する取組への支援や、地方公共団体が取り組む文化プログラムの統括を行うコミッションの配置、「文化芸術アソシエイツ(仮称)」の活用を促進する取組

【支援内容】

- ・ 当該組織の運営費や調査研究費等 支援件数：5事業

訪日外国人が鑑賞・体験できる取組

多言語対応等により日本人に限らず訪日外国人でも鑑賞・体験できる文化事業

支援件数：
都道府県 1事業
市町村 1事業

文化の力による心の復興の取組

東日本大震災の被災地における、実演芸術の鑑賞等を通じた心の安らぎと活力の向上を図る取組

支援件数：18事業

文化芸術創造都市の取組

文化芸術の持つ創造性を地域振興、観光・産業振興等に活用し、地域課題の解決に取り組む文化芸術創造都市の取組

【取組例】

- ・ 国際的な芸術祭、音楽祭、写真展



札幌国際芸術祭2014オーブニングプログラム 巡回するノイズ提供：創造都市をつつばら・国際芸術祭実行委員会

新国立劇場との連携公演

新国立劇場が制作する世界水準の公演の鑑賞事業や、新国立劇場において地域のプロの芸術団体が行う公演

支援件数：7事業

効果

文化芸術による地域活性化

地域文化の国際発信

インバウンドの増加

文化事業の企画・実施能力の向上